

- ・今後、リーマンショック以上のG.D.Pの落ち込みが予想される。これは想定が及ばないくらいひどいことになることが予想される。

今冬以降はChinaが長江流域の大雨により穀倉地帯が壊滅したことにより、世界的な食料不足になることが予想され、先般のマスク売り切れ現象の時のように、スーパーマーケット、ドラッグストア、ホームセンターの商品棚から米が消えるかもしれない。水産資源もすでにサンマは食べつくされている感がある。

建築業界としては、新型コロナ対策のなされた建築物、住宅であれば、玄関に手洗いスペースを設け、外出時に着ていた衣服を収納したり、洗濯前に衣類を一時保管できる、靴履きのままで入れられるクローゼットスペースを、また、一年間分の米を備蓄できる米用の低温庫を住宅内のどこかのスペースに設置する。

来客のある商工業建築等であれば、対面会話する場所の透明な間仕切りを設計段階から効果的に盛り込むなどのアイデアを駆使していくことになると思う。

パナソニックをはじめとして、トイレのパーツの一部供給をChinaに頼り切っていたことから、今後建築資材の供給調達に大幅な遅れが生じることのないよう、メーカー、流通関係に効果的なリスク回避策を促していかないとはいけないと思う。

- ・終息しない事には、全てにおいて復活は非常に厳しいと思います。我々ができる今は、移されない移さないに徹することだけかと思います。
- ・今年初めから今に至るまでのコロナ禍に対する国の対応に疑問を感じる事ばかりです。
- ・耐震診断報告書等の提出も電子申請に出来る様に希望します。
- ・日本人は特異性があるのか解明してほしい。それがわかれば、対策方法が違ってくるのではないかと早く安心して仕事ができるようにしてほしい。
- ・過剰反応していると思います。
- ・講習会は少人数開催（50人以内）で開催して貰いたい。
- ・早く収束して普通の生活に戻りたいものです。
- ・今後しばらくは建設需要が著しく落ち込むと想像される。士会が率先して、例えば行政手続きの簡素化、効率化など、職能存続への方策を打ち立てていくべき。
- ・インフルエンザと同じように共存するしかないと思う。消毒、殺菌のしすぎで、逆に副作用が出るような気がします。
- ・コロナウイルス対策として今後オンライン打合などを行いたいと思っているので、おすすめの方法や設定などについて紙面講習会などを含めて行ってほしいと思います。また、建築業界特有のコロナウイルス対策なども皆さんから教えていただきたいです。
- ・生活様式、働き方等、日常のすべてが変わってしまい、これは今後当たり前になるのだと思います。ワクチン、特効薬等が確立されるまで我慢するしかないのだと思います。ただ、一度このような状況になった以上、ウイルス自体が根絶しない限り、もとの生活様式には戻れないと予想します。afterではなく、withかと。
- ・薬の開発を急いでほしい。
- ・風評被害が一番怖い。確かな知識をもって対策を。
- ・〇〇給付金の申請書の審査・確認に光学読み取り機でなく、紙データを使用するのは、IT後進国と知らされ、ご苦労様と思いました。
- ・コロナについてはワクチン接種できるまで、現状が続くと思います。
- ・貿易・人などの世界との往来が多くまた近くなった現在、今後もウイルス対策は続いていくのではと思います。マスク・手洗い・消毒が日常となっていくのでは？と少し心配に思います。過剰な反応はしないような世の中であってほしいと思います。
- ・患者の居住地、年齢、性別の公表は予防や対策の面からしてもらいたい。
- ・社員が感染した場合の対処方法が知りたい
- ・会員の交流を主として活動している会員厚生委員会はどうしたらよいのでしょうか
- ・持続化給付金について関心がありませんでしたが、まちセン袋井よりアドバイスがあり、昨年5月より報酬が半分以下とわかり、焼津市へ申し込みましたら1週間後に給付され、たいへん助かりました。
- ・業界として夜の街は自粛しましょうね
- ・コロナウイルスというより情報ウイルスに人の気持ちやられている様に思いました。正しく恐れて準備して対応する必要があるかと思いました。

P3 コロナ対策「その他」の内訳です

- ・マスク ・フェイスマスク ・除菌スプレー ・消毒液 ・仕切り版
- ・空気清浄機 ・換気扇 ・交代自宅勤務 ・アルコール消毒 ・消毒清掃 ・従業員検温 ・毎朝入社前検温
- ・網戸の設置 ・役所対応、現場検査以外はメールにて対応 ・外出自粛 ・3蜜を徹底する ・夜出歩かない
- ・一方向を向いて食事、会話しない ・食事(昼食)の場所や時間を別に ・申請を郵送に ・県外に行かない
- ・接触機会をできるだけ少なくする ・施設への入場制限 ・特になし